

「子どもたちの笑顔あふれる学校生活になるように」

私は、地場産食材をふんだんに使ったおいしい給食と作る体験・味わう体験が出来る給食作りに力を入れています。子どもたちからの「給食おいしかったよ！」「全部食べられたよ」の声がなによりの励みになります。作る体験では、自分でおにぎりを作る『おにぎり給食の日』を設定していて、この日は教室へ行くと、作ったおにぎりを見せてくれたり、おいしそうにほおばる姿が見られたりして、楽しい給食の時間になっているとともに、いつも以上に子どもたちとのコミュニケーションもとれていると感じます。最近では、保護者から「一緒に献立表を見て、給食を楽しみにしています」「給食の作り方を教えてほしい」との声をいただくことが増え、食育の輪が学校全体・家庭へもつながっていることを嬉しく感じています。

学校に栄養教諭は1人しかいませんが、まわりの先生方と連携して学校全体で食育に取り組み、私も教員の一員として子どもたちを支援しています。また、他校の栄養教諭ともつながり、1人で悩むのではなく、献立作成や授業作りについて相談したり、アイデアをもらったりしながら、よりよい給食作り、授業作りを心がけています。

特別支援学校に通う子どもたちにとって、食に関する指導は、将来自立し、社会参加するための基盤作りの時間です。これからも子どもたちの笑顔あふれる学校生活になるよう、おいしい給食作りと楽しい食育活動に取り組んでいきます。